

障害者支援施設 ゆすの里

機能訓練プログラム



平成27年4月

I 目 的

理学療法、作業療法、言語療法、心理療法、IADL 訓練、パソコン訓練などを提供し、利用者(以下「本人」という。)の身体機能の改善、IADL 動作の習得、パソコン技能の習得を図り、本人の地域生活移行、就労移行などの目標を実現する。

II アセスメント及び個別支援計画

- (1) 本人の置かれている環境及び日常生活全般の状況等の評価を通して、利用者の希望する生活及び課題等の把握(アセスメント)
- (2) 本人が自立した生活を営むことができるよう支援する上での適切な支援内容の検討

以上の結果に基づき、

- ① 本人及びその家族の生活に対する意向
- ② 総合的な支援の方針
- ③ 生活全般の質を向上させるための課題
- ④ 障害福祉サービスごとの目標及び達成時期

などを記載した個別支援計画を作成する。

III 訓練提供内容

1 基礎訓練

リハビリ	訓練	目的と効果
理学療法	関節可動域訓練 (ROM 訓練)	他動・自動的な関節可動域訓練を行うことにより、関節軟部組織(腱・靭帯・軟骨部など)の維持、拘縮予防、循環改善、運動感覚の改善・維持を図る。
	筋力増強訓練	パワーリハや徒手抵抗訓練などにより筋力の維持・強化を図る。
	基本動作訓練	日常生活上での、移乗、寝返り、起き上がり、座位、起立(立ち上がり)の一連の動作を習得する。また、それにより介助量の軽減も図る。
	協調動作訓練	動作の円滑さ、協調性改善を図る。
	歩行訓練 階段昇降訓練	障害にあった種々の杖や、歩行器を使用し訓練することで、日常生活場面で実用的な歩行能力の維持・向上を図る。
	全身調整訓練	全身の筋緊張を整え、身体機能のリラクゼーション効果により、筋緊張の緩和を図る。
	ファシリテーション	目的に応じた運動を学習させ、よりコントロールされた運動機能の改善を図る。
	車いす操作訓練	車椅子操作の習得を図る。
	ホットパック 低周波	筋緊張の緩和、循環改善による疼痛の緩和を図る。

作業療法	木工	木材を材料として使用しそれに伴う道具を使用することで利き手交換、巧緻性等のつまみ動作、随意性、握力・ピンチ力等の筋力、片手動作、両手動作の維持向上を図る。
	陶芸	粘土を材料として使用する中で、利き手交換、巧緻性等のつまみ動作、感覚促通、ピンチ力等の筋力、片手動作、両手動作の維持向上を図る。
	手芸	布やその他の素材使用する中で、利き手交換、巧緻性巧緻性等のつまみ動作、片手動作、両手動作の維持向上を図る。
	食事動作訓練	食事の一連の動作(食べ物を乗せる, 口まで運ぶ, 飲み込み)について評価・動作訓練を行い、自立を図る。
	入浴動作訓練	入浴の一連の動作(洗う, すすぐ, 拭く)について評価・動作訓練を行い、自立を図る。また、自助具を使って訓練し自立を図る。
	更衣動作訓練	更衣の一連の動作(服を取り出す, 片袖を通す, かぶる, もう一方の手・足を通す, 引き下ろす, 服をしまう)について評価・動作訓練を行い自立を図る。また、自助具を使って訓練し自立を図る。
	整容動作訓練	歯磨き・整髪・手洗い・洗顔・ひげそり(化粧)動作について評価・動作訓練を行い自立を図る。また、自助具を使って訓練し自立を図る。
	トイレ動作訓練	下衣を下げる, お尻を拭く, 下衣を上げる)について評価・動作訓練を行い、自立を図る。
	職能	ボールペン分解、バスタオルたたみ、割りばしの袋つめ、ワークサンプル幕張版実務作業(ナプキン折、重さ計測、プラグタップ組立、ラベル作成、OA 作業など)の実施
心理療法	知能検査	障害や能力に応じて適切な知能検査を実施し、精神年齢・IQ値を測定し、総体としての知的能力を把握する。
	人格検査	質問紙法、投影法、作業紙法など的人格検査を実施し、性格特性(自我状態や対人交流の行動パターン等)や不安・抑うつなどの精神状態を数値化し、客観的に把握する。
	神経心理学検査	失語、失行、失認、記憶障害、注意障害、遂行機能障害などその障害に応じて適切な検査を実施し、高次脳機能障害の有無・状態・程度を把握する。
	面接・行動観察	面接・検査時の理解力・判断力や発言等の全体的な態度、ストレスへの対処の仕方、対人交流など集団生活への適応、障害受容等を把握する。
	カウンセリング	日常生活において抱える不安・悩みに対して、カウンセリングを実施し、利用者自身の力による問題解決ができるよう自己決定能力を高める。
	SST 訓練	SST訓練を実施し、社会生活で行っていく上で必要な対人技能を獲得することで、社会生活技能(Social Skills)を改善し自己管理技能の習得や日常生活技能の向上を図る。
	絵画箱庭療法	心理療法の一つである絵画・箱庭を実施し、抑圧された感情を非言語的な表現で感情を表出することで、自己治癒力を高め、精神状態の安定を図る。

言語療法	失語症訓練	聴覚的・読解力訓練、換語・発話訓練、書字訓練等を行い、言語機能の改善及び代償手段の獲得を図る。
	構音訓練	構音障害の方に対し、呼吸・発声・共鳴・発声発語器官運動訓練等を実施し、言語機能の回復・向上を図る。

2 IADL 訓練(日常生活関連活動)

生活場面の応用動作能力、社会的適応能力の向上を図り社会生活での自立を図る。

① 身辺整理訓練

- ・ 整理整頓、洗濯動作の一連の動作・作業について評価、動作訓練を行い自立を図る。

② 交通機関利用訓練

- ・ 公共交通機関(タクシー、バス、JR等)の昇降動作確認、料金支払い、コミュニケーション方法について訓練し自立を図る。

③ 外出・買物訓練

- ・ 目的地まで外出し買物を行う一連の訓練を行い、本人に必要なものが、一人で買い物できるようにし自立を図る。
- ・ 買物後、荷物が多い場合や体調不良の場合の帰宅手段の検討
- ・ コミュニケーションツール、情報収集としてモバイル(iPad等)活用

④ 食生活訓練

- ・ 基本的な調理動作(切る、剥く等)の訓練を行い、最終的に献立から調理が一人でできるように訓練する。また、自助具を使つての調理動作訓練も行う

⑤ 金銭管理訓練

- ・ 銀行、郵便局での出入金、振り込み、ATM利用訓練、金銭出納帳記入を行い、金銭管理の自立を図る。

3 パソコン訓練(週6回)

パソコンの基本操作を習得し、パソコン検定等の資格取得や、ネットショッピングや SNS など通信・コミュニケーションツールとしての利用や、就業への可能性を探り、パソコンを通して本人の自立と社会参加を図る。

① ベーシック

「パソコンの基本操作と基礎的な Office を使える。」

- ・ WORD・EXCEL 簡単な文書や表を作成する。
- ・ フリーメールアドレスの取得(例: Yahoo メール)
- ・ メールの送受信
- ・ ネットスーパー・ネットショッピングへの登録購入

② キャリアアップ

「Office の活用、や簡単なホームページ作成により資格取得や就業の可能性を探る。SNS の利用や自分のホームページ作成を行う。」

- ・ EXCEL : 集計や関数、マクロ操作などの機能を使用する。
- ・ MOS(Microsoft Office Specialist) ・ CS(Computer Service)などの資格取得
- ・ ホームページの作成(ホームページソフトでホームページを作る)
- ・ SNS の利用(Twitter や Facebook を使用)
- ・ SOHO 等への就業(資格を取得し在宅就労の可能性を探る)

③ モバイル

「携帯可能な機器の利点を生かし、GPS 機能を使った外出訓練、外出先での情報収集などを行い、地域生活に活用できる技術を身につける。」

- ・ モバイル操作の習得
- ・ GPS を使った外出訓練

4 スポーツリハビリテーション、クラブ活動

スポーツリハビリやクラブでのグループ活動を通して、他者とのコミュニケーションをとり、身体と心の快活化を図る。

- ・ 本人の移動能力により、歩行者をグループ A、車いす使用者をグループ B・C、としてグループを編成し、スポーツリハビリに取り組む。
- ・ 囲碁将棋オセロクラブ・スポーツクラブ・書字読書クラブ・手芸絵画クラブ・パソコンクラブ・音楽クラブの実施

IV 移行支援

相談支援事業所や就業生活支援センターなどと連携をとり、本人の希望とする地域生活移行や就労移行を実現する。

① 地域移行(単身生活、自宅復帰など)

- ・ 相談支援事業所との連携
- ・ 移行先の家屋調査、身体状況に応じた改修や福祉用具の使用指導
- ・ 利用サービスの選択、社会資源調査

② 就労移行

- ・ 就業生活支援センター、相談支援事業所との連携
- ・ 本人の身体状況の報告、作業能力や耐久性の評価
- ・ 職場での課題と復職までのスケジュール確認
- ・ 職場実習の参加(日置市障がい者職場実習、企業等実習などに参加し就労意欲の向上を図る)
- ・ 就労継続支援 B 型事業所と連携しての就労体験

V 家族支援

家族からの相談に応じるとともに、社会資源に関する情報提供や勉強会等を実施する。

① 家族からの相談

- ・ 障害に関する知識、本人に対する適切な支援の仕方(介助方法など)についてアドバイスする。
- ・ 家族の抱えるストレスに対してカウンセリングを行い、ストレスの軽減、障害の理解や受容の促進を図る。

② 社会資源に関する情報提供

- ・ 社会保障制度に関する情報提供（精神障害者福祉手帳、障害年金など）
- ・ 地域移行に関する情報提供（地域移行後に利用可能な障害福祉サービスに関する情報提供）

VI 週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土
1 9:00 ～ 9:45	・基礎訓練 ・パソコン	シーツ交換	・基礎訓練 ・パソコン	・基礎訓練 ・パソコン	・基礎訓練 ・パソコン	・基礎訓練 ・パソコン
2 10:00 ～ 10:45	・基礎訓練 ・パソコン	・基礎訓練 ・パソコン	・基礎訓練 ・パソコン	・基礎訓練 ・パソコン	・基礎訓練 ・パソコン	・基礎訓練 ・パソコン
3 11:00 ～ 11:45	・スポーツリハ A ・基礎訓練 ・パソコン	・基礎訓練 ・パソコン ・口腔体操	・スポーツリハ B ・基礎訓練 ・パソコン	・クラブ活動 ・口腔体操	・スポーツリハ C ・基礎訓練 ・パソコン	・基礎訓練 ・パソコン
昼 食						
4 13:00 ～ 13:45	・基礎訓練 ・入浴	・リハビリ体操 ・IADL 訓練 ・基礎訓練	・基礎訓練 ・入浴	・リハビリ体操 ・IADL 訓練 ・基礎訓練	・基礎訓練 ・入浴	
5 14:00 ～ 14:45	・基礎訓練 ・入浴	・IADL 訓練 ・基礎訓練	・基礎訓練 ・入浴	・IADL 訓練 ・基礎訓練	・基礎訓練 ・入浴	
15:00 ～ 16:30	・入浴		・入浴		・入浴	

◎ 基 礎 訓 練 : 理学療法、作業療法、心理・言語療法

◎ スポーツリハ A : 歩行者グループ

◎ スポーツリハ B・C : 車いす利用者グループ

◎ クラ ブ 活 動 : 囲碁将棋オセロクラブ・スポーツクラブ・書字読書クラブ・手芸絵画クラブ・パソコンクラブ・音楽クラブ

◎ I A D L 訓 練 : 身辺整理訓練・交通機関利用訓練・外出買物訓練・食生活訓練・金銭管理訓練